

商店街活性化事業計画の概要

地域

茨城県石岡市

認定日

平成23年3月31日

事業名：「まちで遊ぶ」「まちを楽しむ」をテーマとした、笑顔溢れる 市民参加型活性化事業

事業者名： 石岡市御幸通り商店街振興組合（茨城県石岡市）

事業実施期間： 平成23年4月～平成26年3月

■商店街活性化事業の概要

- ・商店街利用者のニーズに基づき、商店街を舞台として「まちで遊ぶ」「まちを楽しむ」をコンセプトとしたイベントを年間を通じて実施することにより、来街者の商店街への親しみや商店街再生に向けた活力の創出を図る。
また、小型LED街路灯を設置し、安全・安心な歩行空間の確保と併せて、イベント事業との相乗効果によって商店街のPRを図り、来街者を商店街に取り込む。

■商店街活性化事業の内容

◆地域住民ニーズ

- ・商店街利用者へのアンケート調査結果によれば、今後の商店街に期待するものとして「楽しいイベントの開催」が挙げられており、年間を通じた商店街活性化の方策が期待されている。
また、現在の商店街に抱くイメージとして「夜になると道が暗い」という声が多く、商店街の「明かり」の確保が求められている。

◆実施計画の主な内容

- ・石岡めぐみの朝市事業
地元農産物直売所や地元農業者等と連携し、安全・安心な地元農産物を販売する朝市を実施することにより、地域住民の買物環境を向上させるとともに、来街者に向けた商店街PRを図る。
- ・七夕まつり事業
子育て世代や家族連れをメインターゲットとして「まちで遊ぶ」「まちを楽しむ」をコンセプトとした七夕まつりを実施し、地元商店街を楽しむきっかけを生み、来街者の増加を促す。
- ・小型LED街路灯設置事業
商店街の明るさを確保することにより、各種イベントの相乗効果を図ると共に、来街者へ安全・安心な歩行空間を確保する。

■商店街活性化事業計画の目標

- ・昼間時間帯での商店街の歩行者数：平成22年度比で3年後に10%の増加を目指す。
(22年度 419人 → 3年後 461人)
- ・夜間時間帯での商店街の歩行者数：平成22年度比で3年後に10%の増加を目指す。
(22年度 246人 → 3年後 271人)

【商店街の様子】



【七夕まつりの様子】



【地元農産物直売所】

